

平成20年度幸田町一般会計 歳入歳出予算総額 133億5,800万円

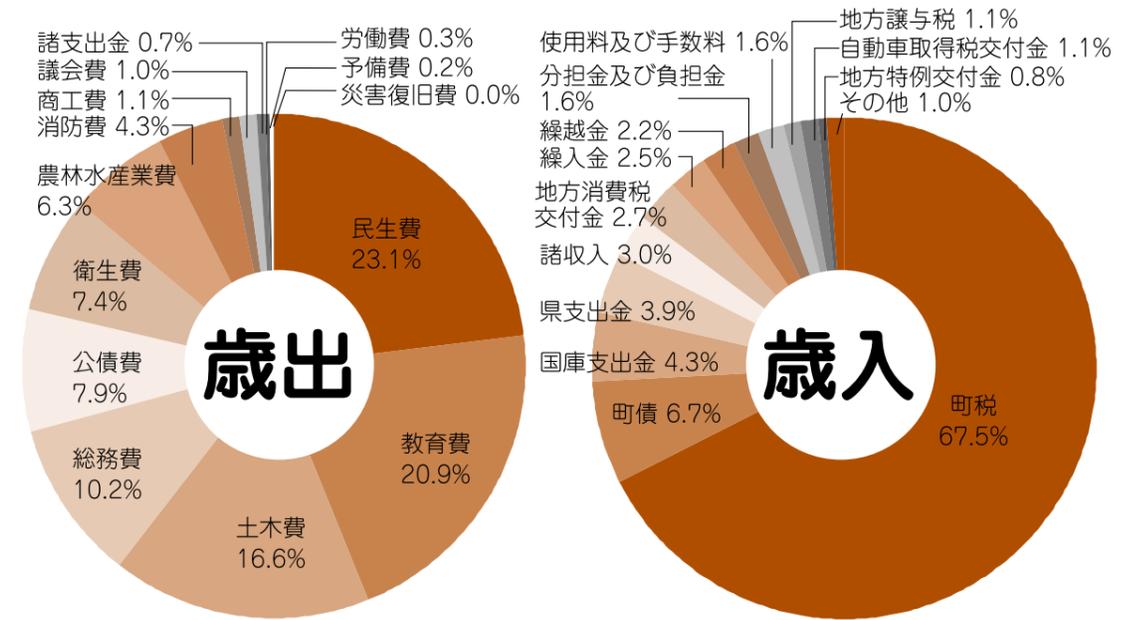
躍進 幸田への 基盤を築くために

住みよいまち、住みたくなるまちを目指して

近年、国・地方においては、地域間の格差問題を始め、少子高齢対策、環境・教育・福祉などの重要な課題が山積しており、依然として市町村を取り巻く環境は、不透明で厳しい状況であります。
このような中、平成20年度予算は、第5次総合計画を指針に、景気変動に左右されない弾力性のある健全な財政基盤を構築するため、事務事業の選択と集中並びに行財政改革に取り組み、「住みよいまち住みたくなるまち」の実現を目指し、安全対策・子育て・障害者支援などの拡大や給食センターの移転改築を始め教育環境の整備等へ、安全安心をモットーに将来展望に立ち積極的な予算を編成いたしました。



幸田町長
近藤 徳光



歳出
歳出を費目別に見ると、民生費が全体の23.1%を占め、次いで教育費20.9%、土木費16.6%、となっています。その中で、教育費が給食センター移転改築、幸田小校舎増築等により、伸び率47.5%増と大幅に伸び、総額では、前年度に対して7.8%の伸びとなり、過去最高額の予算となりました。

歳入
最も大きな割合を占めているのが町税で、自動車関連企業の業績好調などにより、全体の67.5%を占め、伸び率1.6%増となっています。また、本年度は給食センター移転改築等大型プロジェクト事業があり、町債が全体の6.7%（前年0.8%）を占め、大幅に伸びています。

平成20年度 当初予算

一般会計 133億5,800万円

特別会計 (8特別会計) 64億1,829万円

資本的支出 4億8,402万円

収益的支出 6億8,894万円

企業会計

企業会計は、税金を使わず、一つの会社のように独立採算制で事業・経理を行うものです。本町では、水道事業会計がこれにあたります。

特別会計は、特定の財源で特定の事業を行うもので、土地取得特別会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・介護保険特別会計・幸田駅前土地区画整理事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・下水道事業特別会計があり、本年度より新たに後期高齢者医療特別会計が創設されました。

一般会計は、町が行う仕事の大部分をまかなう予算で、町税や国・県からの支出金などを財源にしているもので、町民の皆さんに最も関わりの深い予算といえます。

主な区分の内容

- 歳入**：1年間のすべての収入
- 町税**：町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など歳入の貴重な財源。
- 国庫(県)支出金**：特定の事業の財源の一部として、国(県)から支出されるお金。
- 地方譲与税**：国税として徴収し、地方に譲与する地方道路譲与税、自動車重量譲与税
- 町債**：大きな事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金。
- 歳出**：1年間のすべての支出
- 民生費**：お年寄りや子ども、障害者など福祉や医療などに使われるお金。
- 教育費**：小・中学校、ハッピーネス・ヒル・幸田の運営や生涯学習講座などに使われるお金。
- 総務費**：町職員の給与や町の財産の管理などに使われるお金。
- 公債費**：町債を返済するお金。

会計区分	平成20年度予算(円)	平成19年度予算(円)	伸び率(%)	
一般会計	133億5,800万	123億9,650万	7.8	
特別会計	土地取得特別会計	4億9,011万	4億5,036万	8.8
	国民健康保険特別会計	26億1,500万	26億4,298万	▲1.1
	老人保健特別会計	2億6,650万	19億5,653万	▲86.4
	後期高齢者医療特別会計	2億4,723万	0	皆増
	介護保険特別会計	11億4,758万	11億1,194万	3.2
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計	2億7,381万	2億5,196万	8.7
	農業集落排水事業特別会計	3億7,258万	3億6,734万	1.4
	下水道事業特別会計	10億549万	9億9,134万	1.4
水道事業会計	収益的支出 6億8,894万	6億8,770万	0.2	
	資本的支出 4億8,402万	5億599万	▲4.3	
合計	209億4,926万	213億6,264万	▲1.9	

主要な施策

①安全で快適な都市の 基盤・生活の環境づくり

町民が安全で安心して暮らすことができるよう、安全性、利便性、快適性の高い都市環境の整備に努めます。

- 安全・安心対策
 - ・小中学校不審者情報メール配信開始
 - ・防災遠視カメラによる監視
 - ・民間木造住宅耐震診断、耐震改修支援
 - ・防災備蓄倉庫設置
 - ・自主防災育成
- 消防・救急
 - ・水槽付ポンプ自動車更新
 - ・保育園・小中学校体育館等AED設置
- 交通・防犯
 - ・地域安全ステーション運営
 - ・自主防犯活動支援
 - ・防犯灯設置



▲地域安全ステーション

●道路・橋梁整備

- ・野場横落線、永野菱池1号線他道路整備
- ・生活道路の舗装、側溝整備
- ・防災ダム大井池地区整備
- ・不動ヶ池地域用水環境整備
- ・橋梁点検調査
- ・都市計画マスタープラン策定

●基盤整備

- ・相見地区の区画整理組合補助
- ・幸田駅前地区土地区画整理
- ・新駅建設調査負担
- 下水道（公共下水・集落排水）
 - ・相見・中部・南部・北部処理分区の整備推進
 - ・矢作川流域下水道建設負担

●上水道

- ・農業集落排水事業1・3地区維持管理
- ・水管橋等耐震補強
- ・土地区画整理事業関連配水管布設
- ・道の駅関連等配水管布設

②環境と調和する まちづくり

緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進するため、身近なふれあいのできる場の整備を図るとともに、資源循環型社会の形成に取り組み、快適で美しい環境を創造します。

- 環境対策
 - ・住宅用太陽光発電システム支援
 - ・循環型社会の構築
 - ・生ごみ堆肥化等支援
 - ・環境調査

●都市公園整備

- ・幸田公園用地取得
- ・公園遊具・施設整備補修

③多様な産業が育つ まちづくり

培われた地域産業を生かし、まち全体の調和の中で創造性の高い産業振興に努めます。

- 農村・農業振興
 - ・地域振興施設（道の駅）建設
 - ・原油高騰対策農家支援補助
 - ・集落環境整備
 - ・農地・水・環境保全向上活動
 - ・農業ふれあい講座
 - ・ふれあい農園拡張
 - ・林道開設整備（須美南山1号・1之小屋線）
 - ・造林事業補助



▲道の駅イメージ図

- 商工・観光・勤労者対策
 - ・駅西駐車場拡張用地取得
 - ・優良企業の誘致推進
 - ・商工業経営安定対策の推進
 - ・勤労者住宅資金利子補給

④健康・福祉のまちづくり

町民一人ひとりが、心身ともに健康で生きがいをもって暮らしている地域社会を形成していきます。



▲中3まで拡大される子ども医療費無料化

- 健康づくり
 - ・妊婦乳児検診助成
 - ・不妊治療助成
 - ・みなんで育む健康こつた21計画の推進
 - ・各種予防接種、健診の実施
- 高齢者、障害者福祉・介護保険
 - ・後期高齢者医療制度創設
 - ・第2授産所用地取得

⑤地域文化・人づくり

ライフステージに応じた教育・文化・学習活動の場づくり、環境づくりなど生涯学習の推進に努めることにも、将来を担う子どもたちの健全育成を推進します。また、地域コミュニティ意識の醸成を図り、豊かな地域社会づくりを形成していきます。



▲9月供用開始予定の深溝運動場

- 社会教育
 - ・男女共同参画プラン策定
 - ・生涯学習講座開催
 - ・青少年健全育成
 - ・夏まつり、凧揚げまつり支援
- スポーツ振興
 - ・深溝運動場供用開始（9月予定）
 - ・大日陰運動場整備
 - ・ニユースポーツの普及
 - ・スポーツ教室開催
- 学校教育
 - ・給食センター移転改築
 - ・幸田小学校舎増築
 - ・少人数、通級指導対応教育の推進
 - ・日本語指導教員配置
 - ・奨学金制度創設
 - ・地域に根ざした学校づくり
 - ・教育相談活動の充実
- 国際化推進
 - ・国際交流事業補助
 - ・中学生海外研修
 - ・外国人英語講師配置
- コミュニティ
 - ・地区集会施設建設補助
 - ・コミュニティ活動支援

⑥健全な行財政による 確かなまちづくり

住民が積極的に行政に参加できる開かれたまちの実現を目指します。また、長期的な視点にたった健全な行財政運営の確立と機能強化を図ります。

●情報公開推進

- ・広報紙発行
- ・町政モニター
- ・ケーブルテレビ番組作成
- 指定管理者制度
 - ・ハッピーネス・ヒル・幸田
 - ・高齢者生きがいセンター及びふれあいプラザ
- 行財政運営
 - ・行政改革大綱に基づく事務改善の推進
 - ・行政評価による事務事業見直し
 - ・公債費の抑制

本町の行財政運営は、多様な行政需要や地方分権の更なる推進などに係る経費の増加が見込まれ、厳しい状況下にあります。諸施策の実施にあたりましては、町民の皆様との対話の中からいただいた貴重な意見を可能な限り取り入れ、住民の視線でスリムで効率的な行財政運営に取り組む、努力していきます。

問合せ 財政課財政G（内線332）

町民一人当たりの予算の使い道(一般会計)

36万1,955円

(前年度金額34万3,336円)

* 予算額を平成20年3月1日現在の幸田町の人口3万6,905人で割って算出しました。(1円未満四捨五入)

1	民生費	8万3,500円	(1.2%増↑)
2	教育費	7万5,713円	(44.3%増↑)
3	土木費	6万99円	(3.0%減↓)
4	総務費	3万6,822円	(4.5%減↓)
5	公債費	2万8,587円	(7.0%減↓)
6	衛生費	2万6,785円	(1.0%増↑)
7	農林水産業費	2万2,750円	(11.2%減↓)
8	消防費	1万5,710円	(2.5%増↑)
9	商工費	3,819円	(2.7%減↓)
10	議会費	3,647円	(0.1%増↑)
11	労働費	912円	(1.6%減↓)
12	その他	3,611円	(207.6%増↑)
	合計	36万1,955円	(5.4%増↑)

